

平成25年度奉仕作業が行われる！

お疲れさまでした。おかげさまで綺麗になりました。

6月9日、恒例の本協会文化財清掃奉仕活動が行われた。梅雨の中休みの日曜日、朝8時集合にもかかわらず、22名の会員が手に雑巾やバケツ、箒を持参して旧鷲見分校へ集まった。最初に実行委員長の山下副会長の進行で、開会式が行われた。その時にグランドから見た校舎は、窓ガラスは所々破れ、屋根の樋は壊れ、グランドは雑草に覆われて校舎は危険な状態であることが読みとれた。この校舎の中には、旧高鷲村時代に村民から寄付をしていただいた衣食住に関する民俗資料が保管されている。今日は、この校舎に収蔵されている民俗資料をみんなで少しでも綺麗に、また資料を理解する目的で企画された。市会議員の山川直保氏、高鷲町地域振興事務所の蓑島修氏の協力を得ることができ、改めてお礼を申し上げる。



民俗資料収蔵庫を清掃する会員



掃除終了後、民俗資料を解説する山田氏

掃除が終了後、本協会顧問の山田幸男さんから収蔵資料を集めるときの苦労話と収蔵品の解説講義を受け、散会した。皆さん、お疲れさまでした。

なお、散会后、「たかす自然文化保護研究会」の会員ら数名が民俗資料収蔵庫の見学に訪れた。ただし、「たかす自然文化研究会」事務局からは、高鷲町文化財保護協会と一緒に旧鷲見分校の「清掃奉仕活動を行う」とする呼びかけを研究会員にしていたが、参加者はなぜか無く、10時からの説明時間に集まったようである。

お知らせ

- 6月10日に「郡上一揆の会」が高鷲を訪れた。一揆の会では、切立にある前谷村 定次郎と切立村喜四郎が江戸へ出立する前に隠れ住んだ「鹿小屋」と喜四郎の付け人が喜四郎の獄門死後住んでいた「吉十郎浄土」の説明板を建立されたのを記念して高鷲の宝暦騒動関係箇所を研修に来られた。本会から山田幸男氏が高鷲町内を案内した。
- 毎年5月の総会時に行っていました市内短期研修を、本年度は秋に、町内の祭礼（場所と時間は未定）を見学しようと思っています。



楽しかった高鷲町文化財保護教会研修旅行

山田 幸男



「葵祭」 昨年から楽しみにしていた祭を見ることができて本当によかった。時代祭に劣らぬすばらしい王朝行列にしばし見惚れた。いつかは見たいと思っていたが、やっと望みがかなった。高鷲町文化財旅行として他の町にも先がけて実施されたことを感謝する。とりわけ十二単衣を着た王朝女御の行列・大輪の牛車などに見とれた。天気もよく、約1時間余の祭礼に飽くことなく見とれた。

終わって相国寺を参詣する。天井の龍の絵が素晴らしかった。みんな龍の目がよく見えるといていたが、私にはどこにあるのかよくわからなかった。見えた見えたと言っているのか、私の目が悪いのかと思った。

出雲大神宮を参拝する。大国主命がお祀りしてあると聞き、ここは出雲に近いところだと思った。

旅館は都から離れ、静かで温泉がよかった。

次の日は穴太寺から参詣する。釈迦涅槃像は『なで仏』として知られ、自分の病の箇所と同じ尊像の部分になでると御利益があるというのでみんな盛んに撫でていた。

平岡八幡宮を参拝する。神殿天井に四十四枚の極彩色の花絵が描かれている。この一幅の絵は心休まるものであった。

嵐山へ来て、自由散策となった。5人ほどでグループを作り、タクシーを乗り合わせて寺社を見学する。「大覚寺」を見学する。思ったより大きな伽藍で一巡するのに時間がかかった。大沢池を見たとき海かとみたがった。広大な池を腰を下ろして見ながら休む。さて、最後ともなったが、清涼寺を拝観した。本尊釈迦如来さまは国宝で、インド・中国・日本の三国伝来のお釈迦様として人々の心を魅了し続けていると聞いた。仏像についてゼミナールで勉強しているが、清涼寺の仏像のことが出てきて大変参考になった。

今回の旅行は今まで見聞したことのない所ばかりだったので、大変興味があり勉強になった。京都・奈良は旅行で見学しているので知っていると思っていたが、初めてのところが多く、自分の無知を初めて知った。京都の中でも初めての場所や、郊外の文化財、寺社は行ったことのない所ばかりで、珍しく勉強になった。まだまだ京都は奥が深いと思った。

普段、大型バスばかりで、一応有名なところばかり回っているので、見落とされているいい箇所は参拝していなく、今回は中型バスなので狭い所へも入れ、いい所を見させていただき良かったと思います。

計画していただいた会長さん、スタッフの方々に厚く感謝とお礼を申し上げます。

